

エコアクション21

環境経営活動レポート



レポートの対象の期間

令和5年7月～令和6年6月

発行日：令和7年3月1日

株式会社 佐藤建設

組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 佐藤建設

代表取締役 佐藤 宗徳

2. 所在地

(本社)

〒410-0302

静岡県 沼津市 東椎路477番地

(資材置場)

〒410-0007

静岡県 沼津市 西沢田1358-3

(伊豆営業所)

〒410-2114

静岡県伊豆の国市南條848番地の3

(神奈川出張所)

〒258-0026

神奈川県足柄上郡開成町延沢456

3. 事業活動の内容及び許可番号

- ・特定建設業 国土交通大臣 許可(特一1)第3133号

建築工事業, 土木工事業, とび・土工工事業

大工工事業, 左官工事業, 屋根工事業, 鋼構造物工事業, 鉄筋工事業

塗装工事業, 防水工事業, 内装仕上工事業, 建具工事業

- ・宅地建物取引業 静岡県知事(8)5196

- ・産業廃棄物収集運搬業 静岡県知事 第02201187345号

4. 事業の規模

- ・売上高 2,348 百万円

- ・従業員 40 名 (R7. 2. 25現在)

- ・事業所床面積 676.72 m²

5. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 佐藤宗徳

担当者 山納利奈

連絡先 TEL : 055-925-3100

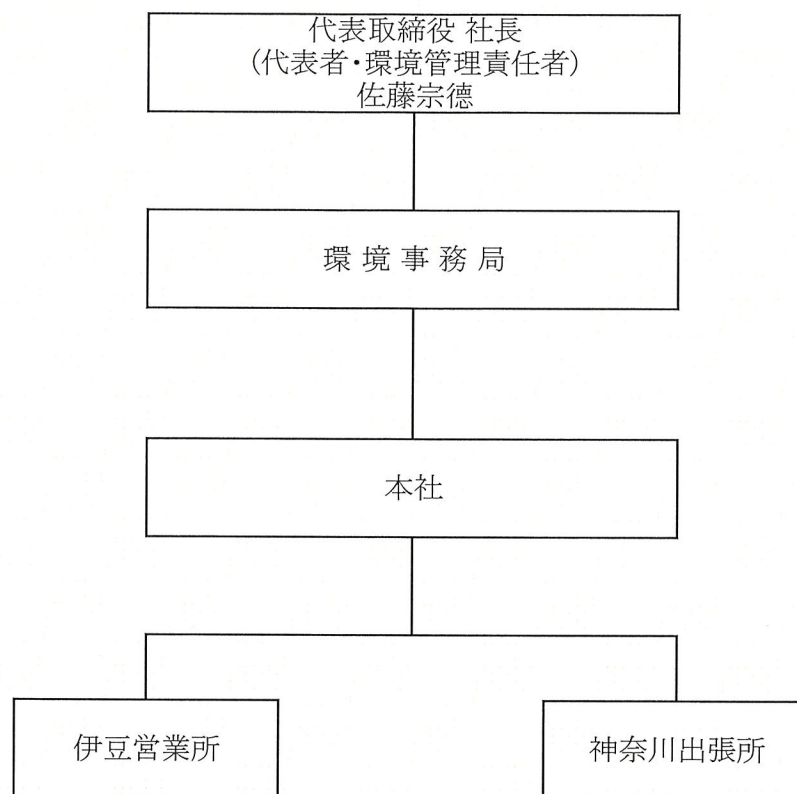
FAX : 055-925-6010

E-mail : r-sanno@sato-ken.co.jp

6. 事業年度

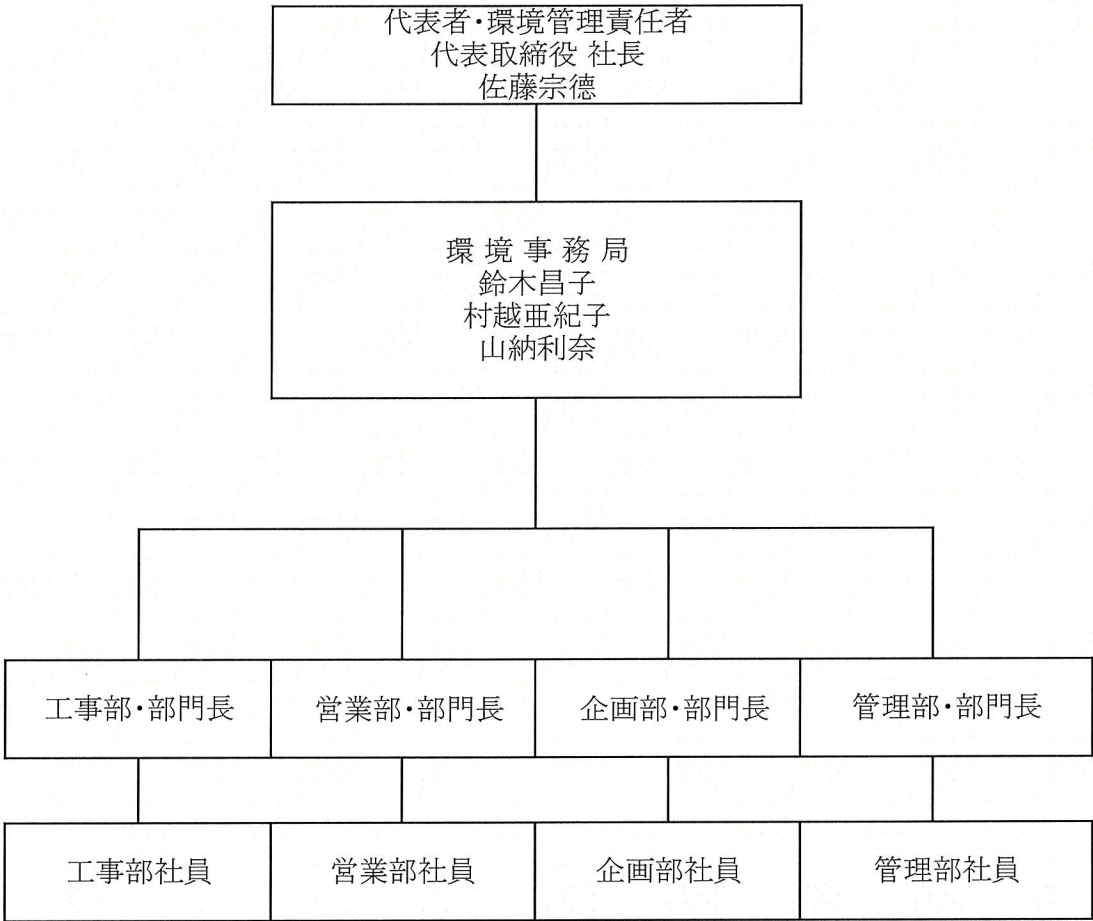
7月1日～6月30日

対象範囲



▲ 安全衛生大会

環境経営活動実施体制



(役割と責任)

代表者	・環境方針の策定 ・環境システムの実施に必要な各種資源の準備 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境目標・環境活動計画の策定
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境活動の実績集計
各部門長	・各部門における環境経営システムの実施 ・各部門における環境方針の実施
全社員	・環境方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚する。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加する。

環境経営方針

基本理念

株式会社佐藤建設は、建設業による地域社会への貢献と、もの創りを通じた個々の社員の自己実現により、顧客、社員、地域等から選ばれる企業づくりを全社員一丸となって行っています。そして、SDGsを軸として、建設業を通して環境保全活動を行うことにより持続可能な100年企業を目指します。

基本方針

株式会社佐藤建設は、基本理念を実現すべく環境経営システムを構築し、下記の方針に基づき建設事業における環境保全活動に取り組んでいきます。

1. 環境への負荷の削減に努め、環境保全活動に取り組んでいきます。
 - 1) 事業所及び現場で使用する化石燃料、電気使用量削減により二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 一般廃棄物(事務所ゴミ)及び産業廃棄物の削減及び再利用の推進
 - 3) 事業所内での節水による用水使用量の削減
 - 4) 事務用品のグリーン商品の積極的購入
 - 5) 環境にやさしい施工の推進
 - 6) 社外における環境保全活動の積極的参加
2. 環境関連法令等を遵守し、企業経営を行います。
3. 本方針を全社員に周知徹底し、環境保全活動の取組を環境レポートにまとめ社会に公表します。
4. 社員とその家族が満足して働ける環境をつくり、次世代へ技術を継承すると共に環境負荷の低減、環境経営システムの運用及び維持・改善を図り、社会的責任を果たします。

改定日 令和6年7月1日

株式会社 佐藤建設

代表取締役 佐藤 宗徳

環境経営目標

1. 2027年度までの中長期目標

項目	単位	2020年(基準値)	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg－CO2※	56,123	-1%	-2%	-3%
総排水量	m ³	297	現状維持	現状維持	現状維持
混合廃棄物排出量	kg	1.8	-1%	-1%	-1%
清掃活動等地域貢献活動	回	5	5	5	5
環境配慮施工活動	件	6	6	6	6
従業員定着率※※	人	0	0	0	0
現場 二酸化炭素排出量	kg－CO2※	36,532	-1%	-2%	-3%
現場 総排水量	m ³	1,319	現状維持	現状維持	現状維持
現場 廃棄物排出量	トン	2.988	-1%	-2%	-3%

※ 購入電力の排出係数は 0.457kg－CO2 を使用
※※ 会社に対し不満があつて退職した場合に限定する。

項目	単位	2020年(基準値)	2025年	2026年	2027年
二酸化炭素総排出量	kg－CO2※	56,123	-4%	-5%	-6%
総排水量	m ³	297	現状維持	現状維持	現状維持
混合廃棄物排出量	トン	1.8	-1%	-1%	-1%
清掃活動等地域貢献活動	回	5	5	5	5
環境配慮施工活動	件	6	6	6	6
従業員定着率※※	人	0	0	0	0
現場 二酸化炭素排出量	kg－CO2※	36,532	-4%	-5%	-6%
現場 総排水量	m ³	1,319	現状維持	現状維持	現状維持
現場 廃棄物排出量	トン	2.988	-4%	-5%	-6%

※ 購入電力の排出係数は 0.457kg－CO2 を使用
※※ 会社に対し不満があつて退職した場合に限定する。

2. 環境目標の達成状況

項目	単位	目標値		2024年度	評価
		比率	数値	実績	
二酸化炭素総排出量	kg－CO2	-1%	56,123	49,555	○
総排水量	m ³	現状維持	270.5	263	○
廃棄物排出量	トン	-1%	1.8	1.8	○
清掃活動等地域貢献活動	回	5	5	5	○
環境配慮施工活動	件	6	6	6	○
従業員定着率	人	—	0	0	○

現場

項目	単位	目標値		2024年度	評価
		比率	数値	実績	
現場 二酸化炭素排出量	kg－CO2	-1%	97,256	101,238	△
現場 総排水量	m ³	現状維持	328.5	592	×
現場 廃棄物排出量	トン	-1%	425,442	943,735	×

事務所と現場の合計

項目	単位	2024年度		
		実績合計	事務所	現場
二酸化炭素総排出量	kg－CO2	150,793	49,555	101,238

1	二酸化炭素排出量の削減 13 環境活動に積極的な対策を 7 エコドライブをみんなにそしてサランに	推進計画	施策	担当部署	実施計画 R6.7～R7.6	備考(具体的方法)
		①電力使用料の削減	・エアコンの設定温度を夏28℃冬23℃に設定。 ・不在、不要の事務所照明の消灯の実施。 ・パソコンを使用しないときの電源をOFFにする。	管理課		エアコン操作盤にシールを貼って周知徹底する。 昼休・退社時の消灯を徹底する。 朝礼等で呼びかけをする。
		②化石燃料消費量の削減	・エコドライブの実践	管理課		急発進・急ブレーキ、エンジンブレーキを効かせた運転の実施。 朝礼、各部会議等で実施を呼び掛ける。 エコドライブ掲載記事の回覧、掲示
2	一般廃棄物の削減 再利用の推進 産業廃棄物の適正な処理 12 つくも責任つくも責任	推進計画	施策	担当部署	実施計画 R6.7～R7.6	備考(具体的方法)
		①両面コピー・両面印刷を積極的な実施。	ミスプリントの回収箱を設置し、両面コピー、両面印刷を積極的に行う。	管理課		ミスプリント回収箱を設置し、各社員が両面コピー・印刷を積極的に行い徹底する。
		②ゴミの分別化を徹底し、再資源化を推進する。	ゴミの分別表示、分別箱を設置する。	管理課		ゴミの分別表示、分別箱を設置し徹底する。
		③産業廃棄物についてマニュアルに沿った適正な処理を行う。	マニュアルが適正に発行されているかの確認を行う。 (4月～5月、年1回)	管理課		各現場で適切にマニュアルの処理・管理がなされるよう、産業廃棄物についてマニュアルに沿った適正な処理が徹底する。
3	事業所内での節水による用水使用料の削減 6 安全な水とトイレを賢く中に 14 海の恵みを守る	推進計画	施策	担当部署	実施計画 R6.7～R7.6	備考(具体的方法)
		①節水使用の啓発表示を行い、意識の向上を行う。	社内掲示(ポスター)を貼ることにより、意識の向上を図る。	管理課		節水使用の啓発表示を行う。
		②漏水点検を行う。	漏水点検を定期的に行う。(月1回)	管理課		月末に各水道の漏水点検を行い徹底する。
4	事務用品のグリーン商品の積極的購入	推進計画	施策	担当部署	実施計画 R6.7～R7.6	備考(具体的方法)
		①事務用品においてエコマーク、グリーン商品の積極的購入を進める。	エコマーク、グリーン商品の積極的購入を進める。	管理課		
5	環境にやさしい施工の推進 11 自然にやさしい環境づくりを	推進計画	施策	担当部署	実施計画 R6.7～R7.6	備考(具体的方法)
		①環境に配慮した建築プランの提案。	高耐久かつメンテナンスの容易な施工の提案及び、リサイクル材・エコマテリアル材、県産木材の使用による施工の提案を進める。	営業部 企画部		①高耐久でメンテナンスが容易な高耐久シート防水の使用による施工。 ②高耐久な外壁塗装の施工。 ③高耐久でメンテナンス更新が容易な給・排水管使用による施工。 ④躯体数量削減による施工。 ⑤リサイクル材・エコマテリアル材使用による施工。 ⑥県産木材の積極的な使用によるCO2削減に寄与する施工。 以上のような提案をすることができた。
		②環境に配慮した施工計画と実施。	環境に配慮した重機の使用や工具の使用を進める。	工事部		環境に配慮した(排出ガス、騒音)重機の使用や工具の使用等実践を行う。

6	社会における 地域貢献活動 の積極的参加 	推進計画	施策	担当部署	実施計画 R6.7～R7.6	備考(具体的方法)
		①社外での地域貢献活動に積極的に参加する。	地域清掃活動の積極的参加を進める。	全員		地域清掃活動に取り組む。(目標5件)
7	従業員の定着率の向上 	推進計画	施策	担当部署	実施計画 R6.7～R7.6	備考(具体的方法)
		①離職者 0 を目指す。	適正な働き方に向けた制度を整える。 若手社員育成によるキャリアアップの推進。	全員		社員とのコミュニケーションを図る。

環境関連法規等の取りまとめ表及び遵守状況チェック結果

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

< 注記:このレポートは、建設業の事業所を対象にした内容になっています。>

適用対象	法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	<当社の対応>	遵守
建設業 建築・土木工事施工業	建築基準法	建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する基準の遵守	法令遵守	24.6.30
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物収集・運搬及び処分業者との委託契約	契約(書)の締結	24.6.30
		マニフェストの交付義務、記載義務及び虚偽記載の禁止	マニフェストの適正な作成	24.6.30
		マニフェストの保管・管理	B2票,D票,E票保管5年間	24.6.30
		マニフェストの期間内返却の確認	90日以内または180日以内の返却確認	24.6.30
		マニフェストに関する報告書作成・提出	年1回報告書の作成と知事への提出	24.6.30
		産業廃棄物処理計画書作成・提出	年1回計画書の作成と知事への提出	24.6.30
		産業廃棄物処理計画実施状況報告書作成・提出	年1回報告書の作成と知事への提出	24.6.30
		保管基準の遵守、削減活動の実施、投棄禁止	不法投棄を行わない	24.6.30
		廃棄物保管場所の掲示板の表示(60cm×60cm)	掲示	24.6.30
		廃棄物の悪臭・飛散防止	仮置場や車両荷台を養生シートで覆う等	24.6.30
	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の設置	法令遵守、体制整備	24.6.30
		処理委託先の実地確認と記録	年1回確認、記録保管	24.6.30
	建設リサイクル法	指定物品のリサイクル化、実績記録の作成・報告・保管義務	アスコン塊・コン塊・木材・汚泥・発生土等再利用	24.6.30
	建設業法	建設現場の環境配慮対応	環境問題の未然防止	24.6.30
	騒音規正法・振動規制法	特定建設作業の実施の届出	市への届出	24.6.30
	道路運送車両法	登録・点検・整備 排ガス規制・燃料使用量の削減	事業者の義務及び一般的な責務	24.6.30
	道路法、道路交通法	道路の保全、法定速度の遵守		
	自動車NOx・PM法	排ガス規制・燃料使用量の削減		
	フロン排出抑制法	簡易点検	3か月に1度	24.6.30
		業務用空調設備、冷蔵・冷凍機等のフロン類の回収・破壊義務	廃棄時に指定業者へ処理依頼	24.6.30
	JIS・JAS規格	F☆☆☆☆規格の製品の使用	規格適合製品の使用	24.6.30
事業者全般	環境基本法	一般的な自主努力	事業者の一般的責務	24.6.30
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	24.6.30
	循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用促進	24.6.30
	グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	24.6.30
	自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金支払い	24.6.30
	家電リサイクル法	指定家電の適正処分	テレビ・冷蔵庫エアコン・洗濯機等	24.6.30
	資源有効利用促進法(PCリサイクル法)	OA機器の適正処分	パソコン・モニタ・他	24.6.30
	消防法(危険物の取扱い)	火災の予防	危険物施設・物品の取扱いと火災予防対応	
	浄化槽法	浄化槽使用開始届出書	現事業所移転時	24.6.30
		浄化槽法第11条に基づく法定検査の受検	毎年1回	24.6.30
		保守点検の実施	3か月に1度	24.6.30

2. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無 < 遵守状況確認日:2024年 6月 30日 >
関係当局よりの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟等も、過去3年間ありませんでした。

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1	二酸化炭素排出量の削減  	推進計画	施策	担当部署	評価	2024年度取組内容
		①電力使用料の削減	・エアコンの設定温度を夏28℃冬23℃に設定。 ・不在、不要の事務所照明の消灯の実施。 ・パソコンを使用しないときの電源をOFFにする。	管理課	○ 二酸化炭素排出量について目標達成できた。 ○ 全項目をほぼ実践することができた。 ○ 操作盤付近にポスターを貼る等して徹底できた。	継続 継続 継続
		②化石燃料消費量の削減	・エコドライブの実践	管理課	○ 社内掲示を行うとともに、社員各自が不在時の消灯を積極的に行う等して徹底できた。 ○ パソコン電源をOFFにせずに長時間離席した場合、連絡して電源を落とすことを心掛けた。 △ 現場以外のガソリンの使用料を削減するなどほぼ実践することができた。 ○ 空気圧の定期的なチェックを行い、おおむね実践することができたと思う。	継続 継続 継続
2	一般廃棄物の削減 再利用率の推進 産業廃棄物の適正な処理 	推進計画	施策	担当部署	評価	2024年度取組内容
		①両面コピー・両面印刷を積極的な実施。	ミスプリントの回収箱を設置し、両面コピー、両面印刷を積極的に行う。	管理課	○ ミスプリント回収箱を設置し、各社員が両面コピー・印刷を積極的に行い徹底できた。	継続
		②ゴミの分別化を徹底し、再資源化を推進する。	ゴミの分別表示、分別箱を設置する。	管理課	○ ゴミの分別表示、分別箱を設置し徹底できた。	継続
		③産業廃棄物についてマニフエスト沿った適正な処理を行う。	マニフエストが適正に発行されているかの確認を行う(4月～5月、年1回)	管理課	○ 各現場で適切にマニフエストの処理・管理がなされており、産業廃棄物についてマニフエストに沿った適正な処理が徹底できた。	継続
3	事業所内での節水による 水使用料の削減  	推進計画	施策	担当部署	評価	2024年度取組内容
		①節水使用の啓発表示を行い、意識の向上を行う。	社内掲示(ポスター)を貼ることにより、意識の向上を図る	管理課	○ 節水使用の啓発表示を行い、目標達成した。	継続
		②漏水点検を行う。	漏水点検を定期的に行う(月1回)	管理課	○ 給湯室、トイレの水道付近に節水使用の啓発表示を行い節水の意識向上を徹底できた。 ○ 月末に各水道の漏水点検を行い徹底できた。	継続 継続
4	事務用品のグリーン商品の積極的購入 	推進計画	施策	担当部署	評価	2024年度取組内容
		①事務用品においてエコマーク、グリーン商品の積極的購入を進める	エコマーク、グリーン商品の積極的購入を進める。	管理課	○ 積極的購入を行った。	継続
5	環境にやさしい施工の推進 	推進計画	施策	担当部署	評価	2024年度取組内容
		①環境に配慮した建築プランの提案。	高耐久かつメンテナンスの容易な施工の提案及び、リサイクル材・エコマテリアル材、県産木材の使用による施工の提案を進める。	営業部企画部	○ ①仮設の照明におけるLEDの積極的使用 ②高耐久な外壁塗装の施工 ③高耐久でメンテナンス更新が容易な給・排水管使用による施工 ④躯体数量削減による施工 ⑤リサイクル材・エコマテリアル材使用による施工 ⑥県産木材の積極的な使用によるCO2削減に寄与する施工 以上のような提案をする。	継続
		②環境に配慮した施工計画と実施。	環境に配慮した重機の使用や工具の使用を進める。	工事部	○ 環境に配慮した(排出ガス、騒音)重機の使用や工具の使用等実践できたと思う。	継続
6	社会における地域貢献活動の積極的参加   	推進計画	施策	担当部署	評価	2024年度取組内容
		①社外での地域貢献活動に積極的に参加する。	地域清掃活動の積極的参加を進める。	全員	○ 地域清掃活動の他、高校生を対象としたインターンシップを実施した。 ○ 小学生の夏休み期間に「職場体験講座」を実施し、工事現場で建設機器を利用した謎解きのイベントを行った。	継続
		 沼津工業高校を対象としたインターンシップ  小学生を対象とした職場体験講座  めまづまちピカ応援隊  NCC清掃活動				
7	従業員の定着率の向上   	推進計画	施策	担当部署	評価	2024年度取組内容
		①離職者 0 を目指す。	適正な働き方に向けた制度を整える。 若手社員育成によるキャリアアップの推進。	全員	○ 社員とのコミュニケーションを図り、目標達成することができた。	継続
		 祝 沼津商工会議所会費事業所 表彰式・認定式 第70回会費事業所 優良従業員表彰式 沼津商工会議所会費事業所 第70回会費事業所 優良従業員表彰式 沼津商工会議所会費事業所 第70回会費事業所 優良従業員表彰式 沼津商工会議所会費事業所 沼津商工会議所優良社員表彰				

代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

1. 環境目標の実績としては、すべての項目において目標を達成できた。

具体的な取組として、今年度は、地域貢献活動として清掃活動、高校生のインターンシップ等の従来からの取組の他、新しい試みとして県主催の小学生を対象とした職場体験講座を実施した。同講座には、多くの小学生、親御さんに参加いただき大変好評を頂き、その記事が新聞等にも掲載された。その他、車両については順次低燃費の車両に入替をおこなったこと等により二酸化炭素の排出量を大幅に削減することができた。

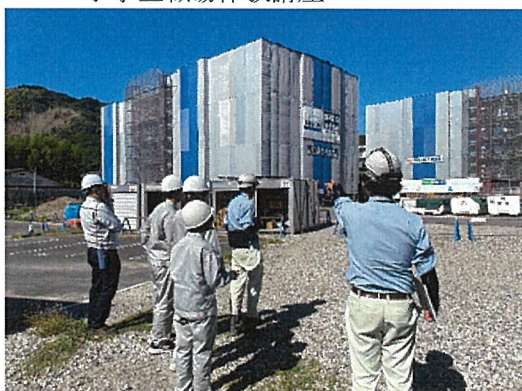
3. 今後も既存の活動にとどまらず新しい取組を行いエコアクション21を継続して環境経営活動に取り組んでいきたい。

令和7年3月1日

株式会社 佐藤建設 代表取締役 佐藤宗徳



▲ 小学生職場体験講座



▲ 沼津工業高校インターンシップ